

【市長記者会見資料】
平成30年5月15日
経営管理部財務室
財政課（担当：西垣戸）
直通：559-5018 内線：2101

連結財務書類（平成28年度決算版）について

先日、平成28年度決算に係る一般会計等及び全体会計の財務書類について公表しましたが、今般、連結会計の財務書類を作成いたしましたので、その概要をお知らせします。

1 財務書類の種類と内容・分析等

別紙のとおり

2 対象となる会計

今般作成した平成28年度の財務書類の対象となる会計は、先日ご報告した一般会計、公営企業会計（病院・水道・下水道）や介護保険などの特別会計（全体会計）に加え、丹波少年自然の家、兵庫県後期高齢者医療広域連合、兵庫県市町村職員退職手当組合及び三田地域振興株式会社を連結対象とした連結会計です。

3 その他

市ホームページで公開を予定しています。

平成28年度財務書類の概要

名称	意義	概要				分析	前年度との比較（一般会計等）	
			一般会計等	全体会計	連結会計			
貸借対照表	年度末時点の資産と、その資産をどのような財源で調達したのかを整理したもの。市が保有する財産（資産）をどのような財源（負債・純資産）で賄っているかを示す。	資産合計	2,617億9,006万円	3,526億3,597万円	3,672億7,818万円	1	資産のうち、一般会計等で21%、全体会計で35%が負債により形成されている。将来に負担を残さない取り組みが必要	
		固定資産	2,573億4,353万円	3,397億1,930万円	3,536億5,719万円			
		流動資産	44億4,653万円	129億1,668万円	136億2,099万円			
		負債	551億7,087万円	1,243億639万円	1,365億2,752万円	2		建物の有形固定資産減価償却率が50%近くになっている。公共施設の適正管理の取り組みが必要
		純資産	2,066億1,919万円	2,283億2,958万円	2,307億5,066万円			
行政コスト計算書	年間の経常的な行政活動に伴うコストと、使用料・手数料などの受益者からの収入を示す表。行政サービスに対してどれだけの受益者負担を求めているのかを示す。	経常費用	349億1,168万円	623億695万円	710億4,779万円	1	経常費用における業務費用のうち人件費が4割程度、物件費等が半分以上を占めている。移転費用（補助金、負担金、扶助費等）が経常費用の47%を占めている。	
		経常収益	20億2,854万円	149億2,737万円	152億1,168万円			
		純経常行政コスト	328億8,315万円	473億7,958万円	558億3,612万円			
		臨時損失	8億9,291万円	8億3,987万円	8億2,581万円	2		
		臨時利益	669万円	2,353万円	1億1,239万円			
		純行政コスト	319億8,355万円	465億1,619万円	548億9,792万円			
純資産変動計算書	市の実質的な蓄えである純資産が1年間でどのような要因で増減したかを示すもの	前年度末純資産残高	2,069億4,990万円	2,291億9,280万円	2,313億8,387万円	1	28年度に提供した行政サービスのコストに対して全体会計と連結会計では財源（税収等、国県等補助金）で賄われているが、一般会計等では賄いきれていない。将来世代に引き継ぐ資産の減少や負債の増加にもつながりかねない。	
		純行政コスト	319億8,355万円	465億1,619万円	548億9,792万円			
		財源	311億7,022万円	466億7,011万円	552億7,181万円			
		その他等	4億8,262万円	10億1,714万円	10億710万円			
		純資産変動額	3億3,072万円	8億6,321万円	6億3,321万円			
		本年度末純資産残高	2,066億1,919万円	2,283億2,958万円	2,307億5,066万円			
資金収支計算書	現金の収支を3つの区分に分類して、1年間の現金の増減を示す。	業務活動収支	13億442万円	34億5,760万円	36億9,991万円	1	投資活動収入のうち基金取崩収入の割合が一般会計等で83%を占めている。財務活動収支は各会計ともにマイナス。地方債の借入れよりも償還が多かったことを示す。	
		投資活動収支	1億9,173万円	3億7,586万円	4億2,395万円			
		財務活動収支	18億515万円	36億5,197万円	36億5,359万円			
		本年度資金収支額	3億900万円	5億7,023万円	3億7,762万円	2		
		前年度末資金残高	7億4,558万円	58億2,688万円	62億7,601万円			
		本年度末資金残高	4億3,658万円	52億5,666万円	60億1,747万円			

四捨五入により合計等が合わない場合があります。

【参考】上記表の用語解説

種類	用語	解説	種類	用語	解説
貸借対照表	資産	三田市の財産	動純計資産算産変	財源	市税、地方交付税、市債など
	流動資産	短期間に使用される資産（現金、預金など）		その他等	固定資産、貸付金、基金の増減など
	固定資産	長期間に使用・運用される資産（土地、建物、車両など）			
	負債	市の借入金や将来負担（引当金等）など	資金収支計算書	業務活動収支	人件費や物件費の支払いによる現金等の支出と税収などによる現金の収入
	純資産	資産と負債の差額		投資活動収支	公共施設や道路整備などによる現金等の支払いと資産の売却などによる現金の収入
有形固定資産減	資産の減価償却累計額の割合を示すもの。施設の老朽化の程度を表す。	財務活動収支		市債など借金の元金の償還による現金等の支払いと市債の新規発行などによる現金の収入	
行政コスト計算書	経常費用	1年間の行政活動によって発生した費用			
	業務費用	人件費、物件費（委託料、備品購入費）、減価償却費など			
	移転費用	補助金、扶助費、他会計への支出金など			
	経常収益	使用料など行政サービスの対価として自治体が受け取った収益			
	臨時損失	1年間の行政活動によって臨時的に発生した費用（災害復旧事業費など）			
	臨時利益	資産の売却など臨時に発生した収益			
	純行政コスト	経常収益や臨時利益で賄いきれなかった費用			